

長野市伝統芸能団体

| | | | | |
|------------|-------------|---|--------------------------------------|-------------------|
| 保存団体 | フリガナ 団体名 | ユヤカグラバヤシホゾンカイ 湯谷神楽囃子保存会 | | |
| | 伝統芸能の 名称 | 獅子神楽 | | |
| | 地区・ 行政区 | 第二地区・湯谷区 | | |
| 行事 (祭礼) | 名称 | 駒形嶽駒弓神社 春季 祈年祭 | 駒形嶽駒弓神社 秋季 例大祭 | 湯谷区行事 等 |
| | 場所 | 駒形嶽駒弓神社本殿 | 駒形嶽駒弓神社里宮 (前夜祭) 駒形嶽駒弓 神社本殿(納祭) | 新年祝賀式・敬老 会・・・他 |
| | 時期 | 毎年4月第1日曜日 | 毎年9月22日(前夜 祭)9月23日(納祭) | 随時 |
| | 内容 | 上松五区(上松・湯谷・滝・城山団地・湯谷団地)合同にて、年間3日間の祭典神事が執り行われている。五区内で年番を回し、年番氏子総代が取り仕切り、年番区の神楽が祭典賑し物を行っている。特に9月22日の秋季例大祭前夜祭では、駒形嶽駒弓神社里宮(上松区内)において、上松五区で10頭の獅子舞が1つのお囃子で一斉に舞い、向きを変えて地附山本殿に向かって再舞するという、他に例を見ない奇祭である。他に、湯谷区内外の諸行事等で獅子舞披露を行っている。 | | |
| | いわれ ・特徴 | ・駒形嶽駒弓神社は、御祭神に健御名方富命彦神別神を祀り、1828年には現在の社号となっていることが分かっている。1863年に再建されたとあり、神仏習合時代より善光寺の「奥の院」として伝えられてきた。社紋は卍であり、本殿は善光寺と同じ撞木造りとなっている。現在でも2月1日には境内にある善光寺堂童子齋場において正月行事で用いられた注連等の祭具を焼却する「お駒送り」の行事を行っている。明治42年(1909年)に湯谷の飯縄社、上松の若宮八幡宮、滝の諏訪社が合祀され、三町合同で神事が執り行われるようになり、後に城山団地、湯谷団地も合流した。湯谷神楽は、戦後間もなく衰退したが、26年前(1995年)に有志により復活され、現在に至っている。 | | |



湯谷区 新年祝賀式



湯谷区 秋祭祭典 辻舞の様子